

➤ 田沼時代 (宝暦・天明期/18c 後半)

① [a. ]の台頭

10代将軍徳川[b. ]の信任を得て、側用人となりその後老中を兼任した

② 田沼意次の政治…積極的に商業資本を利用した政策

【商業・貿易政策】	【開発政策】
<ul style="list-style-type: none"> <li>• [c. ]の<u>積極的公認</u>…<u>運上・冥加</u>の増収</li> <li>• 幕府の[d. ]の拡大</li> <li>• <u>銅座・真鍮座・鉄座・朝鮮人参座</u>などを設置</li> <li>• [e. ]の発行</li> <li>• <u>計数銀貨</u>を発行し<u>金貨を中心とした貨幣制度への一本化</u>を図り、東西の流通の円滑化を図った</li> <li>• 長崎貿易の振興 ←</li> <li>[f. ](いりこ・干し鮑・ふかひれ)を輸出し、金銀の輸入を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>印旛沼・手賀沼</u>の開発 →洪水で失敗</li> <li>• 蝦夷地開発</li> <li>• <u>工藤平助</u>『g. ]の影響を受け、蝦夷地開発を企画 →蝦夷地へ[h. ]を派遣</li> </ul>

③ 田沼意次の失脚 (1786)

- 賄賂政治への不満  
→田沼意知が佐野政言により斬殺された際に、庶民は佐野を支持した
- [m. ]の飢饉 (1782~1788)  
東北での冷害に加え、浅間山の噴火により、東北・関東を中心に全国的飢饉となる

➤ [n. ] (1787) …江戸・大坂など各地の主要都市で発生

↓ 農村の荒廃・都市治安の悪化

➤ [o. ]の改革 (18c 末)

① 老中[p. ](田安家出身で吉宗の孫)の政治

11代将軍徳川[q. ]のもと、白河藩主松平定信が享保の改革を理想として改革を実施

【農村復興策】	【都市政策】
<ul style="list-style-type: none"> <li>• [r. ](1789) 大名に1万石につき50石の米穀の備蓄を指示</li> <li>• [s. ](1790) 農村人口確保のため、資金援助して帰村を奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [t. ]の設置(1790) 無宿人の職業訓練所を設置</li> <li>• [u. ](1791) <u>町費の節約分の70%</u>を積み立てさせ、 飢饉・災害時における救済資金に充てた</li> </ul>
【幕政の引き締め】	【出版統制】
<ul style="list-style-type: none"> <li>• [v. ](1789):旗本・御家人の救済 札差に旗本・御家人への貸金の破棄を命じた</li> <li>• <u>寛政異学の禁</u>(1790) 聖堂学問所での<u>朱子学以外の講義禁止</u> →林家の私塾を直轄化し[w. ]に改称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 風俗矯正 <u>山東京伝</u>(洒落本作家)・<u>恋川春町</u>(黄表紙作家) <u>蔦谷重三郎</u>(出版元)らを処分</li> <li>• [x. ]の処分 『<u>三国通覧図説</u>』『<u>海国兵談</u>』を発禁処分</li> </ul>

② 定信の失脚(1793)

厳しい政治への不満に加え、[y. ](光格天皇が父への太上天皇の尊号宣下を求めたが定信は拒否)を機に将軍家斉との関係も悪化し失脚

➤ 田沼時代 (宝暦・天明期/18c 後半)

① [a. **田沼意次**] の台頭

10代将軍徳川[b. **家治**]の信任を得て、**側用人**となりその後老中を兼任した

② 田沼意次の政治…積極的に商業資本を利用した政策

【商業・貿易政策】	【開発政策】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・[c. <b>株仲間</b>]の積極的公認…<b>運上・冥加</b>の増収</li> <li>・幕府の[d. <b>専売制</b>]の拡大</li> <li><b>銅座・真鍮座・鉄座・朝鮮人参座</b>などを設置</li> <li>・[e. <b>南鐮二朱銀</b>]の発行</li> <li><b>計数銀貨</b>を発行し<u>金貨を中心とした貨幣制度への一本化</u>を図り、東西の流通の円滑化を図った</li> <li>・長崎貿易の振興</li> <li>[f. <b>倭物</b>] (いりこ・干し鮑・ふかひれ)を輸出し、金銀の輸入を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印旛沼・手賀沼の開発 →洪水で失敗</li> <li>・蝦夷地開発</li> <li>工藤平助『g. <b>赤蝦夷風説考</b>』の影響を受け、蝦夷地開発を企画 →蝦夷地へ[h. <b>最上徳内</b>]を派遣</li> </ul>

③ 田沼意次の失脚 (1786)

- ・賄賂政治への不満  
→田沼意次が佐野政言により斬殺された際に、庶民は佐野を支持した
- ・[m. **天明**]の飢饉 (1782~1788)  
東北での冷害に加え、浅間山の噴火により、東北・関東を中心に全国的飢饉となる

➤ [n. **天明の打ちこわし**] (1787) …江戸・大坂など各地の主要都市で発生

↓  
農村の荒廃・都市治安の悪化

➤ [o. **寛政**]の改革 (18c 末)

① 老中[p. **松平定信**] (田安家出身で吉宗の孫)の政治

11代将軍徳川[q. **家斉**]のもと、白河藩主松平定信が享保の改革を理想として改革を実施

【農村復興策】	【都市政策】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・[r. <b>囲米</b>] (1789) 大名に1万石につき50石の米穀の備蓄を指示</li> <li>・[s. <b>旧里帰農令</b>] (1790) 農村人口確保のため、資金援助して帰村を奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[t. <b>人足寄場</b>]の設置(1790) 無宿人の職業訓練所を設置</li> <li>・[u. <b>七分積金</b>] (1791) <u>町費の節約分の70%</u>を積み立てさせ、 飢饉・災害時における救済資金に充てた</li> </ul>
【幕政の引き締め】	【出版統制】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・[v. <b>棄捐令</b>] (1789): 旗本・御家人の救済 札差に旗本・御家人への貸金の破棄を命じた</li> <li>・<b>寛政異学の禁</b>(1790) 聖堂学問所での<u>朱子学以外の講義禁止</u> →林家の私塾を直轄化し[w. <b>昌平坂学問所</b>]に改称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風俗矯正 <b>山東京伝</b>(洒落本作家)・<b>恋川春町</b>(黄表紙作家) <b>蔦谷重三郎</b>(出版元)らを処分</li> <li>・[x. <b>林子平</b>]の処分 『三国通覧図説』『海国兵談』を発禁処分</li> </ul>

② 定信の失脚(1793)

厳しい政治への不満に加え、[y. **尊号一件**] (光格天皇が父への太上天皇の尊号宣下を求めたが定信は拒否)を機に将軍家斉との関係も悪化し失脚